

令和4年度9月教育委員会 会議録

開催日時	令和4年9月27日（火） 15:00～16:15	
開催場所	町民総合会館 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、村木美晴生涯学習課長、今田公久健康福祉課長、貝原丈雄課長補佐、藤井夏樹主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事・報告案件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 早島町立幼稚園園則の一部改正について (2) 働き方改革について (3) その他 3 連絡 <ul style="list-style-type: none"> ・早島小学校4年山の学習 ・町民運動会 ・早島中学校授業参観日、教育講演会 ・早島幼稚園運動会 ・早島小学校修学旅行 4 閉会 	
会議資料		
傍聴者		
会議録作成者	藤井夏樹	

会議内容

1 開会

教育長あいさつ

教育長：早島町の9月議会が始まり、栗坂委員の再任の議案も提出され、同意が得られた。

9月8日には市町村教育長・教育委員研究協議会が行われた。忙しい中で2名の委員に参加をいただいた。あとで感想等を教えていただきたい。

学校園では2学期が始まっている。最近のコロナウイルスの感染状況は若干の減少がみられるが引き続き様子を見ながら学校運営を行っていく。

栗坂委員：市町村教育長・教育委員研究協議会について報告したい。ICTの関係では、参加した他の教育委員会の中にはiPad上に相談ボタンを配置し、その子供が

困っていることがどのようなことなのかを把握できるようにしているところがあると聞いた。不登校については、不登校が多い学校で朝食を用意することで不登校が減ったという話も聞いた。これは家庭的な問題で不登校の人に対して効果があったのではないかと思うが、様々な話を聞くことができた。

また、ICTの分野では、どこの教育委員会でも若手とベテランの先生にICTに関する指導力に差があるという話があった。ベテランの先生にはICT以外の部分では若手にはない指導力があることから、ICTとそうでない部分を若手とベテランで融合することで指導力が全体的に上がっていくような方向にできたらいという話をしていた。それから、同じくICTに関しては機器の更新についての話題が多くあがった。財源の裏付け等がない中で今後の機器の更新を考えていくのは全国のどの教育委員会でも課題となると思う。また、情報モラルの問題についても、情報モラルの問題が起きて当然という考えのもとで指導をしていくことが重要だという話があった。

綾野委員：オンライン英会話のことについて聞かれたが、詳細は早島町教育委員会に聞いてほしいと伝えている。

教育長：私が参加したコミュニティスクールについては教育委員会間で温度差があった。形だけのところから、とても熱心なところまで様々であった。

部活動については、どの教育委員会も指導者の確保とお金のことを課題としていた。ある教育委員会では現状の地域移行について子供の気持ちをないがしろにしていると感じて、子供のことを考えた地域移行ができたらいという考えを持っていた。

2 議事・報告案件

(1) 早島町立幼稚園園則の一部改正について

今田健康福祉課長：幼稚園の事務の一部が健康福祉課に移っておりますので、健康福祉課のほうから説明をさせていただきます。**【資料説明】**

教育長：質疑等はあるか。質疑が無いようなので、承認してよろしいか。承認することに決しました。

(2) 働き方改革について

教育長：勤務実態調査結果についてだが、これは県が調査を行ったものである。県内の抽出された学校での勤務実態調査で、レジュメのとおり行われた。令和2年、3年はコロナウイルス感染症の関係もありあまり比較にならないので令和元年と比較をしている。令和元年度に比べて全体的に時間外勤務の時間は減っているようだが、週休日に業務に従事した者の割合等悪化している数字もいくつかある。

これらは県の調査であるが、早島町についてはどうなのかというと、小中学校ともに県の平均よりは少なくなっている。早島町では令和4年度働き方改革プ

ランをレジユメの通り作成している。これは昨年度も作成したが、今年度は学校行事の精選や内容の検討、教育のユニバーサルデザイン化による居場所づくりの研究を推進という2点を新たに追加した。

教育でユニバーサルデザイン化という言葉はあまり聞きなれないと思うが、教室や黒板等の教育環境をユニバーサルデザイン化したり、授業のユニバーサルデザイン化ということで、焦点化、視覚化、共有化をしたりしている。また、指導力についても、近年は教員の年齢層がいびつであり、30代、40代の先生が少なかったりするので、ベテランの先生のノウハウを若手につないでいかないといけないということで、教材の共有等をして、最低限のラインでは指導力のレベルアップを行っていきたくと考えている。今年度からの取り組みでいきなり成果は出ないかもしれないが進めていきたくと思う。

綾野委員：勤務時間についてはどのように測定しているのか。

猪木課長：出勤時と退勤時にサーマルカメラで体温を測るようになっており、その時に自動で集計されるようになっている。

岡本委員：学校行事の精選とあったが具体的にはどのようなものか。

教育長：だいぶ削いでいる。近年はコロナウイルス感染症の流行でやりたくてもできない行事があった。今年度はかなりそれ以前の形に戻りつつある中で、以前の行事をそのままの形で復活するのがよいのか、違った形でやり方の工夫等ができないのかという、運動会で種目を絞ったり、その他の行事でも短縮や簡略化したり、ただ、子供のこともあるので、どこまで精選していくのかというのは精査して検討しているのが現状である。

市橋委員：子供から聞く話では、子供からすると先生がやりたくないんだろうという印象を持っている感じもある。先生からきちんとした説明を受けることなく行事が減るようなことが無いようにすべきだと思う。子供は子供で先生のために行事を減らしているんだろうというようなことを感じ取っているということを加味したほうがよいのではと感じている。

岡本委員：コロナ禍の2年間は大きかったと感じている。自治会でも行事が全部止まり、最近はコロナ禍前の形に戻すのか、それとも違う形をつくっていくのかという話にもなっている。2年間の間に新たに役員になった人も多く、新しい形にしていこうと傾いている。学校も同じで2年前に戻すのか、まったく違う形をつくっていくのか、ここでそれぞれの学校がより個性化できるのではないかと感じている。

もう1つ、教員の年齢構成の話があったが、ベテランの先生の目に見えないノウハウはたくさんある。こうしたものを引き継いでいくための取り組みは何かあるのか。

教育長：学校教育ビジョンの活動の中で学び部というものがある。この中で小中連携に特

化したユニバーサルデザイン化に今年度は取り組んでいる。今年度からのことですぐに結果が出るとは限らないが、そこでつながっていけばよいと思っている。確かに学校でも3年ぶりの活動が多々あった。プールの指導をしたことがない先生がいるということもあった。町の活動だけで全てができるとは思わないが、先生にそういった意識を持ってもらえるように続けていきたいと思う。

(3) その他

教育長：学力調査に関する広報紙の原稿を入れている。

村木課長：6月議会で質問のあったことに関することで深砂公園テニスコート高齢者グループ減免制度を10月1日より行う。【資料説明】

3 連絡

教育長：レジュメのとおり学校園で行事が行われる予定である。

4 閉会